



プランタン管弦楽団 第15回定期演奏会

PROGRAMME

M. レーガー

ベートーヴェンの主題による変奏曲とフーガ op.86

L.v. ベートーヴェン

交響曲 第3番 変ホ長調「英雄」op.55〈ベーレンライター版〉

指揮 ● 中村 暢宏

2016

7.10 日 13:00 開場
13:45 開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

[地下鉄栄駅より徒歩2分]

全自由席 500円

チケットぴあ tel 0570-02-9999 Pコード [294-453] URL <http://t.pia.jp/t>
お近くのチケットぴあ、サークルK、サンクス、セブンイレブン各店でも直接お買い求めいただけます
愛知芸術文化センタープレイガイド tel 052-972-0430
名古屋市文化振興事業団チケットガイド(ナディアパーク8F) tel 052-249-9387
その他プレイガイドにて発売

主催 ● プランタン管弦楽団

後援 ● 名古屋市 名古屋市教育委員会 中日新聞社

お問合せ ● 080-3668-4058 プランタン管弦楽団

URL <http://orchestreprintemps.com/> E-mail printemps0163@yahoo.co.jp

小さなお子様のご鑑賞は他のお客様の迷惑にならないようお願いいたします

◎託児サービスのご案内 ※7/7(木)までにお申し込みください

託児料金：お子様一人につき 1,000 円

お申し込み・お問合せ：トットメイト tel 0120-01-6069 (9:00-17:00)

ORCHESTRE PRINTEMPS

15th Regular Concert July 10, 2016

ブランタン管弦楽団は、2000年に結成されたアマチュアオーケストラで、出身地や職業が多様なメンバーによって構成されています。毎年夏に定期演奏会、隔年冬にウィンターコンサートを開催しています。近年の定期演奏会では、定番のシンフォニーのほか、日本人作品など聴く機会の少ない楽曲にも取り組んでいます。今回は、今年が没後百年を迎えるマックス・レーガーの「ベートーヴェンの主題による変奏曲とフーガ」、そしてベートーヴェンの「英雄交響曲」をお届けします。いずれも同じドイツの作曲家ですが、2人の間にはほぼ100年の時間が流れています。そして、レーガーからさらに100年たった21世紀の現在、ヨーロッパも世界も大きく変わりました。そんな対照もお楽しみいただけるよう練習に励んでいますので、是非ともご来聴下さい。団員一同、心よりお待ちしております。



第14回定期演奏会 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番 他 2015.7.5 愛知県芸術劇場コンサートホール



なごや環境大学10周年記念コンサートwith ブランタン管弦楽団 2016.1.10 日本特殊陶業市民会館ビレッジホール
ゲスト：BOYS AND MEN 神田豊壽 司会：深谷里奈



指揮 ● 中村 暢宏 Nobuhiro NAKAMURA

1973年東京生まれ。1996年愛知県立芸術大学卒業（ヴィオラ専攻）。これまでに宮松重樹、河津政實、田久保裕一、秋山一慶、A. ポリシュク、V. シナイスキーの各氏に指揮法を師事。ヴィオラ奏者として、中部フィルハーモニー交響楽団トップ奏者を務めるなど、各地のオーケストラで活動。指揮者としては、国内での活動に加え、2007年にはロシアのサンクト・ペテルブルク、2012年にはブルガリアのプロヴィディフにおける公演、2013年にはウィーン楽友協会にてベートーヴェンの「ミサ・ソレムニス（荘厳ミサ曲）」を指揮。これまでに、愛知室内オーケストラ・ミュージックアドヴァイザー、一宮市消防音楽隊常任指揮者などを歴任。現在、ブランタン管弦楽団常任指揮者、名古屋アマデウス室内管弦楽団音楽監督、名古屋市民吹奏楽団常任指揮者、梶山フィルハーモニーオーケストラ指揮者、愛知工業大学管弦楽団指揮者など、数多くを務める。名古屋フランス音楽研究会会員。

Johann Baptist Joseph Maximilian Reger
1873-1916 Germany



マックス・レーガー
ベートーヴェンの主題による変奏曲とフーガ (1915年)

Variations and Fugue on a Theme of Beethoven, op.86

ベートーヴェン晩年の作品である「ピアノのための11のバガテル op.119」から、最後の Andante ma non troppo 変ロ長調の主題を元に作曲された。自分こそがドイツ音楽の伝統本流であるとの信念を持ち、ワグナーやブルックナーに傾倒したレーガーの作品は複雑かつ晦渋とされるが、随所にロマン主義の薫りが感じられる。

Ludwig van Beethoven
1770-1827 Germany



ベートーヴェン
交響曲第3番 変ホ長調「英雄」(1804年)

Symphony No. 3 in E^b Major, op.55, "Eroica"

ナポレオンへの礼讃から幻滅へ、そしてそれを普遍的な「英雄像」に昇華させた作品という話は、どうやら俗説らしい。ロマン・ロランがいう「傑作の森」のさがけとなる「エロイカ」を、ベートーヴェンは自分の最高傑作と考えていたという。ともあれ、新しい時代のはじまりがはっきりと感じられる音楽といえる。今回の演奏は、ベーレンライター版による。